

都議選 大勝利54議席獲得、第一党に 自公石原与党過半数割れの目標も達成

東京都議会議員選挙（定数127）の投開票が12日行われ、党は現有議席34から54議席と大きく議席を伸ばし、都議会第一党となった。また、目標としていた石原都政の自公与党の過半数割れ（自民38、公明23）も達成した。

この大勢判明を受けて、党本部で夜記者会見した岡田克也幹事長は、「素晴らしい結果が出つつある。鳩山代表、菅代表代行、東京都連の鈴木寛幹事長、蓮舫広報委員長、加藤公一選挙対策委員長はじめとする方々の力の結果。都民の皆さんに素晴らしい結果を出してもらった。感謝申し上げるとともに、身の引き締まる思い」と語り、今後の都政についても、「石原知事も議会の声に耳を傾けるようになる。知事をチェックする議会の機能を果たすようになる」と議会本来の機能を党として果たしていくとの考えを述べた。



岡田克也 民主党幹事長

勝因に関する質問に、「東京都連が素晴らしい候補を擁立し、改革を訴えたこと。また、国政での解散先延ばし、自民党の混乱に都民の皆さんがノーを突き付けた」として、麻生首相に「都民がレッドカードを突き付けた」との見方を示した。また、次期衆院選への影響についての質問に「我々を勇気づけるもの。しかし、直接衆院選と連動すると単純には言えない。勝って兜の緒を締めよ、しっかりと戦っていく」との感想を述べた。

投票率は54・49%で前回は10・50%上回った。



菅直人代表代行(中央)
鈴木寛都連幹事長(左) 蓮舫都連広報委員長(右)

都議選圧勝におごることなく総選挙勝利を！



鳩山由紀夫 民主党代表

鳩山由紀夫代表は13日午後の常任幹事会で、東京都議選について、「皆様のご努力により、歴史的な勝利をつかむことができました。これは単に都議会の選挙であるだけでなく、国政を占う選挙だ。特に、告示ギリギリまで候補者の擁立にご尽力いただいたうえ、公認候補58人のうち54人が当選した。日本が東京から変わる瞬間を、皆さんに演出していただいた」と述べ、民主党の第1党躍進と自公両党の都議会過半数割れの意義を強調した。鳩山代表はさらに、12日投開票の奈良市長選挙でも民主党推薦の仲川げん氏が自公候補を破って初当選したことを紹介、「これらの勝利はひとえに、民主党に対する期待感と、この国を変えたいという国民の強い思いによるものだ。これにおごることなく、油断せずに衆議院解散・総選挙に一致団結して取り組んでほしい」と一層の努力を呼び掛けた。